

宮城県石巻市「湾口部低平地の土地活用方針の策定」

目的・背景

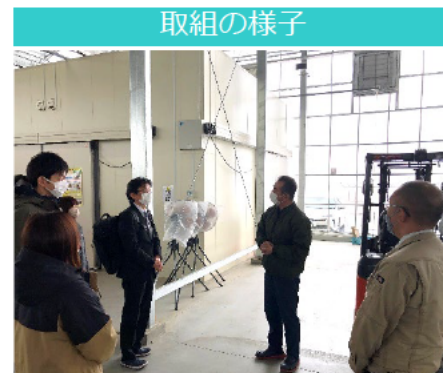
一団の未利用地が広がる地区における計画的な土地活用方策を検討

- 津波により土地全体が浸食され、長期間水没した地区において、低平地整備事業等の事業完了後により広大な造成地が未利用地として発生。
- 災害危険区域の指定と防集事業導入の結果として、近隣に居住者がおらず、公有地と私有地がモザイク状に混在している権利関係もあり、特段の土地利用方針はなく、土地需要についても不明確。**市最大規模の未利用地の活用により地域の活性化・産業振興等を図る。**



取組とその効果

- 他部署へ情報収集**を行い、土地利用状況やこれまでの動向を整理。庁内における情報共有と利活用に向けた募集対象業種や募集条件を検討する「**庁内連絡会議**」を組成。
- 対象地域の特性や近年の産業立地動向を踏まえ、事業者へヒアリング。エリアごとの産業立地の受け皿としての可能性を把握・整理し、「**新しい農漁業+震災伝承と農漁村都市交流**」をテーマにした**土地活用方針（案）**を作成。



事業者へのヒアリング

取組経過

- 6～9月 他部署へ情報収集を行い、関係団体の意向・経緯等の土地利用状況や動向を把握し、**全体像を可視化**
- 9～12月 情報収集をきっかけとして、**庁内検討体制を組成**し、関係団体や民間事業者の情報共有と立地業種等の方向性を検討
- 12～2月 地元関係団体との意見交換と市内外の事業者ニーズ調査の実施結果を基に、**土地活用方針（案）**を作成

今後の方向性

- 地権者意向調査の結果反映と「**庁内連絡会議**」による庁内合意を経て、**土地活用方針を策定**
- 公有地と私有地の一体的活用も見据え、**土地カルテを作成して情報発信し、公募等で利用者募集**

取組成果



土地活用方針（案）



スマート農業イメージ (写真：石巻市内事例)